

地域で様々な世代が
交流すれば、町の活力に
つながりますね



02 三春駒に 込める願い 子育て・福祉の これから

町長 今年の干支は午（うま）。三春には全国的に知られる郷土玩具の三春駒があります。子育てや健康の願いが込められていることから、今日は三春での子育てや福祉についても話を伺います。

濱田さん 三春は地域の方々がまるで親戚のように温かく

見守ってくれるので、安心して子育てができる環境だと思えます。一方で、公園には「キャッチボール禁止」の看板があったり、遊びや習い事の情報も届きにくかったりするため、町外と比べて子どもが自由に遊んだり好きなものに会ったりする機会が限られていると感じることもあります。

渡部さん 私は子育てで、みはるまちファミリーサポートセンター（※）にとてもお世話になりました。今でも、当時お世話になった方に街なかで会うと声をかけてもらえたりして、地域の皆さんに見守られながら子育てしたことをあらためて実感しますね。

町長 子どもたちが育つ場は学校だけではなく、三春でも小学校の統合の検討が進む中、地域のつながりを今以上に意識して、積極的に関わることが大事だと思います。今のお話は、その参考になる内容だと感じました。

濱田さん 医療の現場では具合が悪くなってきたからの対応が中心ですが、本来は病気になることが重要。町民が元気で

いられると、地域の見守りの力も、働き世代の安心も高まり、良い循環が生まれます。そのためにも、食育セミナーやウォーキングイベントなど健康づくりにつながる取組みに今後も積極的に取り組んでいきたいですね。

町長 最近では、外から見えにくい困りごとを抱える町民や一人暮らしの高齢者も増えています。地域の関わりの場について、皆さんはどう感じますか？



移住前に
想像していたほど
地域の交流は
多くなく、少し意外に
感じました

濱田さん 雪はきやごみ出しの様子からお互いに声かけをしたり、一人暮らしの方を気遣ってご近所の方々がお手伝いしたりする様子も見ることがあります。

門馬さん コロナ禍を経て、地域のつながりやイベントは減った

今年の干支は午！ 三春駒のご紹介

日本三大駒の一つとしても知られる三春の伝統工芸品「三春駒」。黒い駒は 子宝・安産・子育て のお守り、白い駒は 老後安泰・長寿 のお守り。



※みはるまちファミリーサポートセンター：
子育ての援助をしてほしい人（お願い会員）と
手助けしたい人（まかせて会員）がそれぞれ
会員になり、お互いに
助け合うシステム。

HP▶



ように感じます。元気な方はサロンなどに参加もできますが、一方で、人と関わるのが難しい方もいます。だからこそ、子どもたちと高齢者世代と一緒に集まれる場があると、みんなが楽しく交流できるんじゃないかなと思います。



高齢者と子どもの
交流の場に、
耕作放棄地を
活用するの
もいいかも

皆さんからひとこと

楽しく健康に！をモットーにウォーキングや食育のイベント。さらに、『三春シロモト市』では町外の方にも足を運んでいただけるよう、賑わいづくりの取組を進めていきたいです。

濱田さん

岩江こども園やアウトドアヴィレッジ三春など大きな施設のオープンが続きましたが、今一度、三春の文化財や観光資源にも目を向け、歴史の魅力を打ち出した取組にも力を入れていきたいと思っています。また、人口が減っていくなかでも町がしっかりと“稼ぐ力”を持てるよう、将来の道筋を示しながら、持続可能な地域づくりを進めていきたいです。

坂本町長